



BLSO (気仙沼) コースの ご 案 内

ALSO : Advanced Life Support in Obstetrics

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1993年に American Academy of Family Physicians (AAFP - 米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。プログラムは世界でも高く評価され、米国以外にも 50 ヶ国以上でプロバイダーコースが開催され、10 万人以上が ALSO コースを完了した。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約 1000 名が ALSO コースを修了した。コースには産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、保健師、救命救急士など、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。近年、産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わる可能性のある人たちがトレーニングできる場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO である。

BLSO : Basic Life Support in Obstetrics

主に病院前産科救急を想定して、ALSO の前段階の産科救急基礎コースが、BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) コースである。BLSO は交通事故や災害などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士や各自治体の保健師などを対象とした教育コースであると言える。コースは 1 日コースで、少人数グループによる重要ワークショップは 正常分娩、分娩第 3 期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇

生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLSOコースを受講し試験に合格した場合、参加者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効の認証を受けることができる。

産科救急の知識と技術の習得

東日本大震災では、地域において産科医療に従事していた医療機関や行政組織が被災し、その機能が著しく低下したために避難所等に避難した妊産婦の対応に苦慮した経験があった。地域医療に関わる職員のスキルアップと医療プロバイダー拡充の必要性が指摘される。東北大学メディカル・メガバンクでは石巻市に引き続き、地域医療支援の一環としてBLSOを気仙沼市で開催する。本プログラムは、救急時、災害時の分娩を安全に取り扱うための実践的トレーニングコースであり、今後日本各地で普及していくことを願ってやまない。

【概要】

セミナー：BLSOコース

主催：東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

共催：NPO法人 周生期医療支援機構, 気仙沼市立病院

後援：米日カウンシル(US-Japan Council) TOMODACHIイニシアチブ

開催場所：気仙沼市立本吉公民館

日時：平成25年8月10日(土)8:30~17:00(受付8:00~)

募集人員：18名

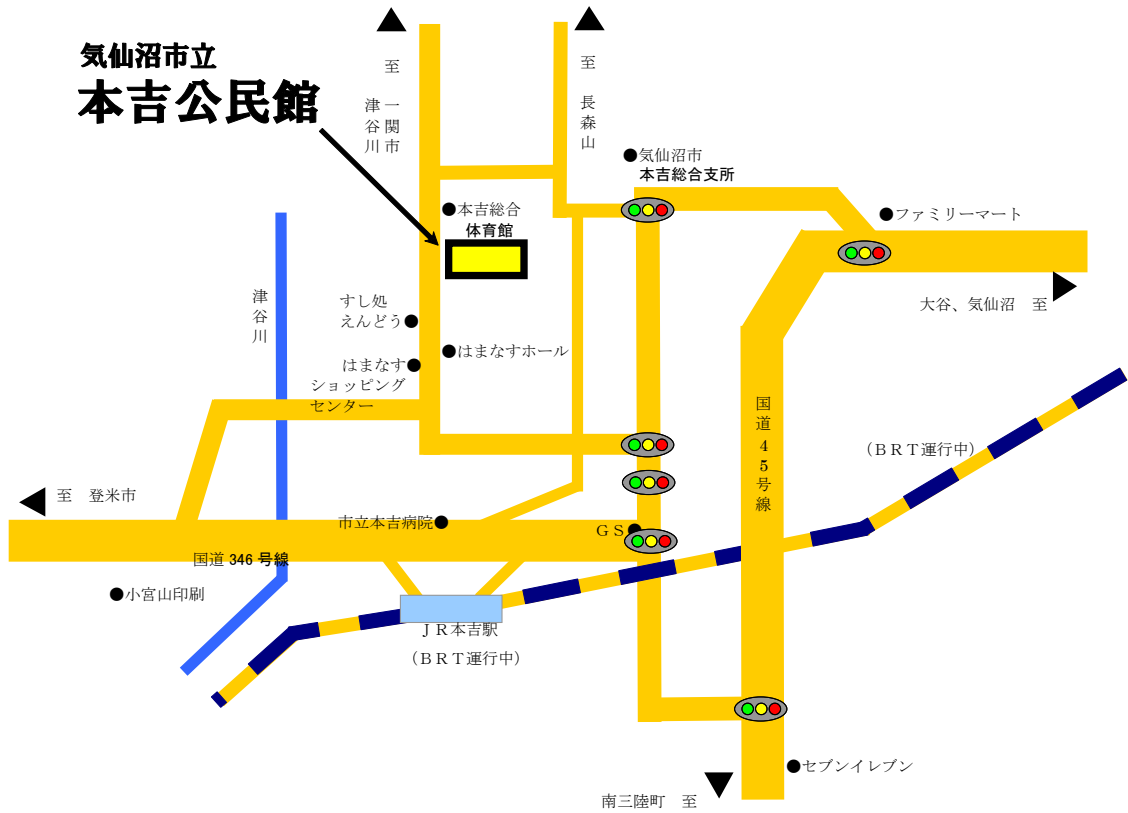
(主に妊婦外傷等, 病院前産科救急に携わる医師, 看護師, 救急救命士等)

申込方法：参加希望人数が定員に達しましたので、公募は終了いたしました。

問合せ先：気仙沼市立病院 総務課総務係 畠山

TEL 0226-22-7100 (内) 204 FAX 0226-22-3121

E-Mail somu@kesenuma-hospital.jp



気仙沼市立病院より車で 約35分